

# 本書の使い方

本書は、次のような構成になっています。

▶**犬の基礎知識**

犬の体をはじめ、犬を飼うにあたっての環境や食餌ほか、日頃から心がけておきたい習慣について、犬の基礎的な知識を解説します。

▶**応急手当の基本**

応急手当をする目的や、応急手当をスムーズにするために日頃からしておきたい準備について解説します。

▶**応急手当のポイント**

犬の扱い方や運び方、体温の測定、包帯の仕方、薬の

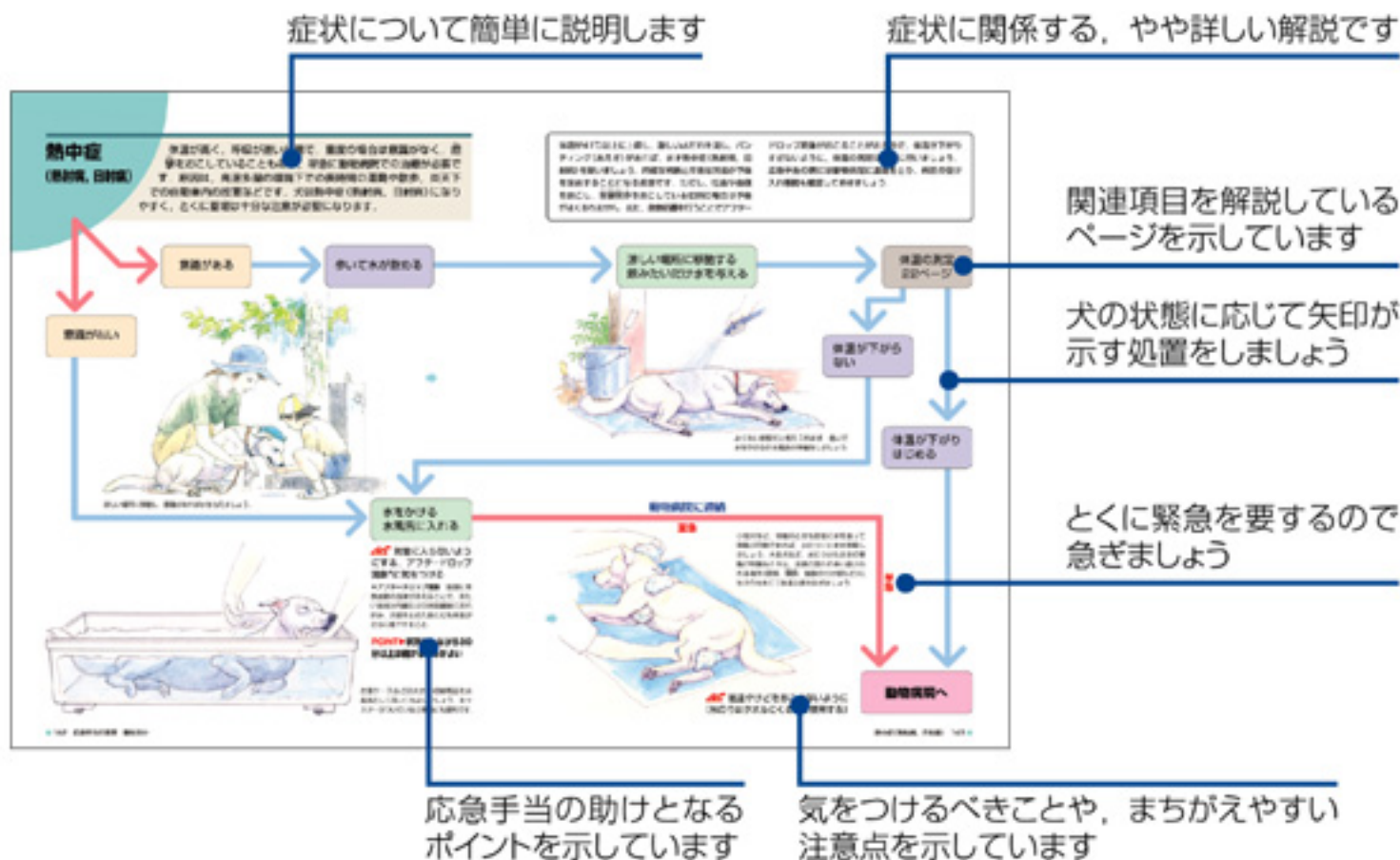
飲ませ方など、応急手当をする際に必要な処置方法を解説します。

▶**救急時の特徴的な症状**

応急手当が必要な際に犬に現れる救急の症状(ショック症状、心肺停止、**痙攣**、昏睡など)について、その対処方法を解説します。

▶**応急手当の実際**

応急手当が必要な各症状の処置方法を、次に示す方法で解説します。



※本書では一般的な応急手当について解説しています。手当の現場でこれらの場合があてはまらないこともあります。不明な点等があるときには、必ず動物病院の指示を仰いでください。

また、本書で紹介しているのはあくまで応急手当です。応急手当をした場合はそれだけですませず、必ず動物病院の診察を受けてください。

<アートディレクション・レイアウト>

遠藤茂樹

<イラストレーション>

田中豊美

山内 傳(犬の体 p.2, p.3)